

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム
第8期（2013-2014年度）総会 議事録

1 開催日時

平成25年10月24日（水） 午後2時から午後3時まで

2 開催場所

海運クラブ 3階 303会議室

3 会員総数

39名

4 出席会員数

30名（うち代理出席者12名、表決委任者13名）

5 議案

- 議案1 第7期（2012-2013年）事業報告（案）及び収支決算（案）及び監査報告
議案2 第8期（2013-2014年）事業計画（案）及び収支予算（案）について
報告事項 会員名簿変更について
規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更について

6 議事の経過および結果

- ① 建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム規約第26条に基づき、本日の総会は定数（会員の過半数）を満たしたので有効に成立した旨を告げたのち、開会を宣言した。
② 議長の選任について、本コンソーシアム理事長 鈴木博之氏を選任した。
③ 議事録書面人の選任について、議長ほか2名を本コンソーシアム副理事長 芦原太郎氏及び副理事長 浅野宏を選任した。
続いて、議案の審議に入った。

- 議案1 第7期（2012-2013年）事業報告（案）及び収支決算（案）及び監査報告
・第7期（2012-2013年）事業報告（案）を運営委員会委員 鈴木長則氏より説明。
・第7期（2012-2013年）収支決算（案）を事務局より説明。
・事業報告（案）、収支決算（案）について、監事2名により監査した結果「適正に処理されていた旨」を、監事代表として一般財団法人日本建築センター 理事長 松野仁氏より報告。

以上につき、事業報告（案）について、文中の（展示/図録×30点）の重複記載の修正及び一般社団法人日本建築学会の団体名表記を訂正の上、承認を求めたところ、全員一致により承認可決された。

- 議案2 第8期（2013-2014年）事業計画（案）及び収支予算（案）の件
・第8期（2013-2014年）事業計画（案）を運営委員会委員 鈴木長則氏より説明。
・第8期（2013-2014年）収支予算（案）を事務局より説明。
以上につき、全員一致により承認可決された。

○報告事項

・会員名簿変更について

第7期退会した会員による会員名簿の変更について事務局より報告した。

・規約第7条第4項に基づく指定代表者の変更についての件

法人会員の役員の変更に伴う指定代表者の変更について事務局より報告した。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。

以上の議事の要領および結果を明確にするため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成25年10月24日

建築・空間デジタルアーカイブス コンソーシアム

第8期（2013-2014年）総会

議長

鈴木博之



議事録署名人

浅野宏



議事録署名人

芦原太郎



○参考

第8期（2013-2014年）事業計画における「オープンアライアンス活動」をテーマとした意見交換概要を以下に記載します

（芦原副理事長）

井上住宅局長より「建築界をあげた体系的な取り組みが求められている」という話を頂戴したが、国立近現代建築資料館やDAAS、その他様々な団体、建築事務所が各々取り組みつつあるものをどのような場で体系的にしていけるか、その方法はあるのかについてはいかがか。つまり、DAASが中心となることができるかが何か。来年度事業計画のオープンアライアンス活動は、具体的な取り組みとなるのかを確認したい。

（事務局）

来年度の国庫補助金は、文化庁と連携したコンテンツ整備とし、関係各所との連携を進めている。また、金沢工業大学、JIA-KIT アーカイブスとの連携を強化するというので、運営委員会で検討している。

（鈴木理事長）

ご意見のとおり様々な組織がアーカイブスを立ち上がってきており、各組織をどのように繋げてゆかかという部分は大変重要な問題と認識している。DAASはその中心軸としての役割を果たしてゆかなければならないと思っている。文化庁 近現代建築資料館との間では、連絡組織を設定するところまで話が進んでおり、JIA-KIT アーカイブスとも実際にはオーバーラップした方が活動し進んでいるため、徐々に動きが見えてくるものと考えている。

—以上—